

2017年6月

協会会員各社
会員代表者 殿
会員窓口担当者 殿

(一社)研究産業・産業技術振興協会

平成29年度 JRIA 委員会・先導技術研究会活動のご案内について

(参加者募集)

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また日頃より、協会の事業運営に関して多大なるご理解ご支援を賜り、こころから感謝しています。

さて、標記の JRIA における委員会・先導技術研究会活動については、ご案内が遅れておりましたが、5月末にとりまとめた JRIA 中長期ビジョンを踏まえて、内外の R&D・イノベーション動向に関する委員会活動やこれと連動する検査分析、解析業に注目した調査を重点的に進めるとともに、第4次産業革命にかかわる人工知能、IoT、ロボット等の先導的技術や社会的課題に関する研究など会員ニーズに対応する新テーマに取り組むことにしました。

つきましては、下記の通り参加者を募集しますので、貴社内のご関係部門の方々にご案内下さいますとともに、是非ともご参加・ご登録下さいますようお願いいたします。なお、現時点では関係機関と検討中のためご案内に至っていないテーマもありますが、活動内容が整ったところで追ってご案内いたします。よろしくお願ひします。

敬具

----- 記 -----

1. 各委員会・先導技術研究会活動の目的・概要

(1) 研究開発マネジメント委員会

第4次産業革命の時代といわれ新技術を駆使して瞬時に膨大なデータから価値が創造される状況になりました。グローバル社会の中で改めて新技術を生み出し事業化に結び付ける研究開発マネジメントが重要になっています。今年度は、内外の R&D・イノベーション動向を踏まえ、特に「日本らしいイノベーションは？その達成手段は？」を掲げて、研究開発のマネジメント・人材育成や各種規制などの様々な課題の解決のための糸口やヒントを探ることを目的とし、専門家による講演、現地視察などを行います。7月31日（月）開催される第一回委員会において今年度の活動方針につき議論いたします。

(2) 検査・分析委員会

検査・分析委員会では例年、①民間、公設試等の検査分析機関を対象としたアンケートによる検査・分析動向調査、②関連事業所への訪問調査、③国際標準の動向調査を3つの活動の柱としています。今年度は、これらの事業を継続するとともに、会員ニーズの多かった公的機関における利用可能機器に関する情報のとりまとめなどを行います。

(3) 先導技術研究会

先導技術研究会は、第4次産業革命にかかわる人工知能、IoT、ロボット等の先導的技術や環境・健康・安全などの社会的課題の解決に向けた先導技術の展開に関する産学官の「知」のネットワークです。まず、先導技術・イノベーションに関する内外の動向

について幹事会で調査研究をすすめ、特に関心が高いテーマを選定して研究を深化する専門調査研究会やシンポジウムを開催しています。

平成29年度は、「人工知能（8月30日、松原仁はこだて未来大学教授など）」、「先端材料等」を中心とする研究会及び「食の安全専門調査研究会」、「再生医療等の先端バイオ技術に関するシンポジウム」を継続開催するとともに、新たに「ロボティック・バイオロジー」「環境技術調査委員会の継承発展」について研究活動を開始する方向で準備をしているところです。

(4) 先導技術研究会 食の安全専門調査研究会

食の安全は、国内における消費者の食の安全志向の高まり、グローバル化する食の流通、環境問題等に起因する食の生産基盤など多岐にわたる問題が指摘されています。そこで、昨年12月に食品の生産、加工、流通、消費などの各段階における現場ニーズを把握し、今後のビジネス展開の可能性を探ることを目的として「食の安全専門調査研究会」を設置しました。

本年度は7月10日（月）に厚生労働省から政策の現状と課題に関する講演をはじめ、食品安全・信頼性に貢献する行政、公的機関、研究・分析評価機関などとの交流などを計画しています。

(5) ナノ新機能材料等分析技術向上と標準化支援 【公益財団法人JKA競輪補助事業】

ナノ材料開発を支えるナノ計測技術の向上と標準化に関し、SEMの分解能標準化については、ISO/TC202での標準化指針にいち早く対応し世界に先駆けた標準物質の開発を進めていきます。また、二次イオン質量分析法（TOF-SIMS）及び走査型電子顕微鏡（SEM）を取り上げ、当該分析技術に関する測定手順の標準化、標準物質の開発等を行うことにより標準化を支援します。7月26日にナノ元素分析標準化検討委員会を開催する予定です。

(6) 目利きコミュニティー委員会

企業等において研究開発・研究開発支援の経験を有するOB人材等の活躍の機会を広げるため、目利きコミュニティー活動を行っています。平成29年度は目利きコミュニティー委員会（毎年秋開催）を継続するとともに、産総研若手研究者との交流会（産技懇、毎月第三木曜日開催）の案内をする方向で検討しています。なお、登録いただいたOB人材等の皆様には専門分野等に応じてJRIAが受託した研究開発プロジェクトの運営管理などを依頼することがあります（報酬あり）。

（ご注意）

今年度の委員会活動は、一部の継続事業は7月上旬に日程が決まっているものがありますが、概ね7月から順次開催される予定です。具体的な活動内容は上記事務局案などを踏まえながら委員会で検討を加えて具体的な活動を進めることにしています。

3. 委員会・先導技術研究会活動等の実施要領

(1) 会員の参加費は基本的に無料です。

*先導技術研究会の一部の専門調査研究会は有償となる場合があります。

(2) 調査内容（訪問先、講演者）は委員会が主体となって決定します。

*調査旅費については、各社負担となります。

(3) 委員会は通常、協会会議室で開催し、その出席費用（交通費等）は各社負担となります。

4. 希望する委員会・先導技術研究会活動等の選択と申込方法

委員会活動への参加を希望される場合は、参加をご希望の委員会名等の必要事項を回答用紙（別紙）にご記入の上、可能な限り7月14日(金)までに、協会HP、E-mail（またはFAX）にて、当協会調査研究部宛ご返信願います。

※昨年度から継続して参加される方も、必ず回答用紙にご記入ください。

※各委員会の訪問調査や講演会には人数の許す限り他委員会からの参加も可能です。

なお、調査研究テーマは、昨年度の委員会委員他、関係各位のご意見や要望を拝聴しながら設定しています。前ページに記載されている委員会で扱うテーマ以外にも、直面している課題や検討してみたい事項など、新たなテーマを希望される場合は、回答用紙（別紙）の下段にあるご意見記入欄に、関心のあるテーマ等についてご自由にご記入ください。

記入いただきましたテーマ等に関しましては、今年度又はH30年度委員会活動テーマを検討するときに考慮させていただきます。

社内で幅広くご案内いただけます様、よろしくお願い申し上げます。

ご不明の点につきましては、調査研究部までお問い合わせ下さい。

以 上

担当：(一社) 研究産業・産業技術振興協会 調査研究部
嵩 比呂志

電話：03-3868-0826 FAX：03-5684-6340

(別紙)

回答用紙

締切日：
7月14日(金)

(一社) 研究産業・産業技術振興協会 調査研究部 嵩 宛

委員会等活動への参加の件

参加希望者1名ごとに本用紙をコピーしてご使用下さい。

ふりがな 氏名	
会社名	
所属	
役職	
T E L	
F A X	
E - m a i l	
参加希望委員会 (括弧内に○印を付けて下さい)	<input type="checkbox"/> 研究開発マネジメント委員会 <input type="checkbox"/> 検査・分析委員会 <input type="checkbox"/> 先導技術研究会 (人工知能、先端材料等講演会) <input type="checkbox"/> 先導技術研究会 (食の安全専門調査会) <input type="checkbox"/> 先導技術研究会 (ロボティック・バイオロジー) <input type="checkbox"/> 先導技術研究会 (環境技術 (後日案内)) <input type="checkbox"/> ナノ新機能材料等分析技術向上と標準化支援 <input type="checkbox"/> 目利きコミュニティー委員会

ご意見記入欄

1. 上記委員会又はそれ以外のテーマで、協会会員企業を募って取り組みたいというテーマをお持ちでしたら、テーマ名と参加部門(案)をご記入下さい。
2. 当協会の委員会活動全般に対するご意見について、自由にご記入下さい。

--

担当：(一社) 研究産業・産業技術協会 調査研究部
嵩 比呂志

電話：03-3868-0826 FAX：03-5684-6340

Mail：suu@jria.or.jp